

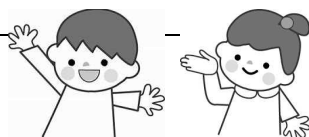
のびのび



平成30年度校長室だより 第7号 平成30年12月4日

湯田小学校の大切な言葉： あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

30年度チャレンジ目標：湯田小ABC



憧れの先輩、頼もしい後輩

校長 伊藤 豊

去る11月30日（金）、湯田中学校と合同で本校6年生がVS活動を展開しました。当日は、複数の班に分散し、湯田温泉街の足湯や歩道、井上公園等の清掃活動を行いました。2年前から、この活動に本校の6年生が加わっています。約一月前から、6年生教室近くの掲示板に、各活動班の責任者の顔写真、活動の内容、持参物等が示されたポスターが貼られていました。6年生はそこを通るたびに自分の班の責任者、つまりは先輩の顔を目にし、おそらくその先輩の直筆で記された諸連絡を確認していました。この手法は、JRC活動でよく用いられる「先見（せんけん）」を模した伝達方法です。口頭やプリントで伝える側から知らせる手法に比べ、伝えられる側が、必要な情報を責任をもって収集しなくてはなりません。参加者の責任感を促す伝達方法と言えます。ですから、活動当日集合場所に赴いた6年生は、活動の目的と自分の役割をいつも以上に自覚した状態でした。

湯田中学校から掃除道具やのぼり旗をもって参集する中学生は、無駄話もなく、しかしどこか余裕を感じさせていました。自分の班の先輩に対面した6年生も、少し緊張感をもちながら、落ち着いていました。活動場所が多岐に渡っていましたので、そこでの指導監督は中学生の先輩でしたが、路上や敷地内のゴミや落ち葉をかき集めたり、足湯を歯ブラシやタワシで磨いたりと熱心に活動できました。普段の清掃活動もちろがんばる6年生ですが、やはり中学生の先輩との活動は、普段以上に気持ちが引き締まってできたように感じました。責任者の中学生に6年生の様子を聞いてみたところ、小学校時代の下級生に比べて、頼りになる後輩という印象だったと話してくれました。

12月を迎え、小学校生活も残すところ4か月になった6年生です。今回の小中合同の活動は、来る中学校生活に向けた心構え作りとしてよい機会になりました。そして、下級生に向けて先輩はどのような姿であるべきかを学ぶことができたと思います。「憧れの先輩、頼もしい後輩」の関係を築くために、残り4か月の学校生活でしっかり活躍し続けることを期待しています。

こんなところに…「やさしい方々」

地域の方の力をお借りして



11月25日（日）に、大内中学校体育館で山口市少年相談員主催の少年綱引き大会が開催されました。本校からも5・6年生の有志児童がチームを作って参加しました。音楽会の練習時期から昼休みに週に2回、体育館で練習を重ねました。その時は、本校学校運営協議会委



員の方々にもご指導いただきながら、本校教員とともに一本の綱を引いたり、フォームを確認したりしました。

大会は、他校5チームとのリーグ戦から始まりました。大内中学校の体育館いっぱいの選手や応援の人々の前で、力いっぱい綱を引き続けました。結果は、3勝2敗で、惜しくも決勝トーナメントの上位4チームには残れませんでした。近年にない活躍ぶりでした。本校からも多くの教員が駆けつけ、大きな声援を送りました。

この綱引き大会は、20年以上も続いています。大切な湯田地域の子供たちが非行に走らないように温かく見守り、声をかけ、今回のように活躍できるように支えていただいている湯田地域の少年相談員の皆様方には、とてもお世話になっています。自分の周囲に信頼できる大人の存在がある状態は、学校教育の効果を2倍にも3倍にも高めてくれます。子供たち自身も、保護者以外の大人に励まされ褒められる経験は、自分自身の存在と責任を改めて感じるようになります。湯田地域には、こうした温かい大人たちがあちこちにいらっしゃる素敵な地域だと感じています。これからも、いろいろな機会でご指導いただきたいと切に願っています。

余談ですが、早くも来年度の大会での活躍に期待がかかっています。現在、大内南小チームが3連覇中ですが、本年度参加した5年生児童が中心となりながら、4連覇を阻止する活躍をしてくれるよう期待したいと思います。

湯田地区 ここがいいね



湯田地区青少協主催の地域見守り活動が、毎月第1土曜日の夕方行われています。小中PTAや子供会等の保護者の皆さんや湯田中学校生徒会執行部の生徒さんたちとともに、湯田地域の住宅街や公園を巡回しながら安全確認を行う活動です。



12月1日(土)16時から今年最後の見守り活動が行われました。いつもなら10人程度で巡回するのですが、今回は、生徒会執行部交代の時期ということもあり、10名以上の中学生の参加があり、大人数での巡回となりました。地域交流センターを出発し、湯田幼稚園前を通過して住宅街を抜け、中央公園横、権現山、小学校裏を経由しました。土曜日の夕方ということもあり、屋外で遊ぶ小中学生にはほとんど出会いませんでした。私も、4月に着任以来できるだけ参加していますが、これまで誰かを注意したり、トラブルに遭遇したりしたことは一度もありません。とても落ち着いた状態を確認しながら巡回しています。今回もそうでした。総勢20名近くが黄緑の腕章をして巡回する姿は、道行く人々や自動車に「安心の街 湯田」を強く印象づけることができたのかもしれない。

見守り活動を続けていらっしゃる青少協の皆さんは、参加した中学生一人ひとりのことをとてもよく知っていらっしゃいました。地域の大人として、子供たちを長年続けて見守って来られた証だと感心させられます。ここにも、温かい大人の存在のありがたさを感じています。

お詫び)

先月号で「湯田ふれあいまつり」としていましたが、正しくは、「湯田ふるさとまつり」でした。お詫びして訂正いたします。